

Outline In The First Half OF 2022 2022年上半期の総論

はい～みなさまこんにちは。まーさです。
まずは…無事に2022年を迎えられましたことを、共に祝いましょう(多分これを初めて読むときはまだだだけど)。本当に…いろいろあった…この二年くらい…。多分まだあるけど、でも何か(多少は)一山越した感じがありますね。

きっとこれまでよりは、動きやすくなる、いろいろな意志や思いが通じやすくなる年になりますように！
と祈りを込めて。では早速参ります。
2021年12月末段階での星のおさらいから。
まあまあ脱力モードだった12月(そこまでがいろいろあったから気持ちはわかる)。29日をもって、木星が水瓶座から去ります！ 2021年5～7月ごろにも行きましたが、今度は本格的移動です。
牡牛座天王星×水瓶座土星のスクエアを何となくやわらげてくれていた木星…いってしまうのかい…と思いますが、ただ次なる停車駅？は魚座。木星のなじみの宿ですから、水瓶座木星期とは少し違う形で、スクエアをやわらげてくれるでしょう…。むしろやわらげ度からすれば断然こちらが上…(水瓶座期の木星は「私たちが自分らしく生きる心の支え」。魚座期は「まあまあ、そう気にするなって」と絶えずお

菓子をくれ、時に仲裁にも入る隣人のイメージ…。しかもこの上半期には、すでに木星、牡羊座にまで進みます！
その後も、逆行期間には少し魚座に戻りますが、再来年2023年上半期にはもう牡牛座にも行ってしまおうので、つまりは魚座、牡羊座の木星期ってちょっと短いですよね(逆行が少なくとそうなる。一般的には一年くらいいます)。今私が数え間違えていなければ、2021年にあった魚座木星の時期も入れて…大体魚座は8か月。牡羊座は11か月くらいでしょうか。

つまり、この二星座よ！ 木星来たら、今回はすんごく足が速いから(魚座にはもうすぐ来る&来ている)。その分逆行もないし、順当にその恩恵は得やすいので。
「木星がきたらどういう方向を伸ばしたいか。追い風をもらって成長したいかしっかり考えておくように」。
これ早々の通達としたいと思います(笑)。

で、シンプルなところに戻りますと。
年末段階で水星、金星は山羊座で金星は1月28

日まで逆行中。火星は射手座。このほか逆行という牡牛座天王星ですが、こちら新年あけ19日に順行予定。でもそれと前後する感じで14日から水星が逆行です(これは2月3日まで)。だから10天体順行そろい踏みは…残念ながらない！ まあそれでも大したことじゃないんで(笑)。多少逆行があろうが、生き抜くのが我々だけ。

変わりゆく世界の中で 変わらず守ってきたいものは？ 1月

みたいなベースから始まります。1月。
いきなりですが、魚座木星ノアスペクト(友達なし)からスタート(涙)。
月の頭は山羊座太陽&牡牛座天王星の保守連合(とも言い切れないが、比較的安定志向)、射手座火星&水瓶座土星の「今を変えたい」、比較的革新派。それと同じく火星と魚座海王星の「理想だけではかき何かと取集がつかない」、チーム取っ散らかり。この辺が三大勢力です(笑。このほかにももちろん天王星と土星の90度は健在です)。っていうか、どこも二天体ずつなんで大した力じゃない。「いろいろ思うところはあるし、早速動き始めたこともあるが、決定力不足」という印象の時期かも。まあ悪い感じではないのですが、全体を巻き込むほどの力はどういう形でも発揮が難しく、「それぞれがそれぞれの視点や立場で考えている」という雰囲気。
でも「これまでやってきたことを、より新しく(改良、改定)」のほうに分があるかしらね。本当なら元気よさげな射手座火星を活かしたいところですが、支援してくれる星が足りないし、活気とやる気と勢いだけで何かを押すには、いろいろ弱いのだとも思います。

うむ、ふと思いましたが、これは今後もきつとずっと関係ある話ですが、今後は何を成すにも「雰囲気やその場のノリだけで、結構いけちゃう」

はない…成功率低いんじゃないかなあ。
かといって「重々準備して、隙のないようにしてから動け」(石橋叩く系)って意味でもなくて、より詳しく言うなら、「要点を押さえて、短時間で必要な準備を整えるセンス、技術」みたいなものが、何に関しても求められるのではないかと。

これ、牡牛座天王星と水瓶座土星の両方から感じるのですが。
この二星が君臨(=影響力がかなり強いということである)している間は、おそらくきつとそうだし、何ならその期間に、いろいろなジャンルのスタンダードって、書き換えられてしまうと思うのです。「このくらいできるのが一般的」みたいなね。
どっちも妥協がないし、特定のことにほとともこだわる(高いものを求める)性格ですから。
その星が結局“基準”になっちゃうってことだから。この時代に。しかもスクエアでお互いにゴリゴリやるので…ますますレベルは上がる(多分どっちかだけなら、その星座の個性が満面に出て、その分隙というか、適当さも表面化すると思う。スクエアならではの高度な切磋琢磨である(汗))。

少し話それましたが。
そんな状況も背景にあるので、やはり現段階では時間をかけて(おそらく)何かを育ててきた系の、保守連合の力が強い。新たなアイデアで何かを新しく作るよりは、今ある人気商品を、パッケージ替えしたり、種類を増やしたりして展開するほうが有効でしょう。「すでにあるものを、より上質に、よりポピュラーに」みたいな雰囲気も。でも同時に、新しい案&勢いもきちんととっておいてほしいな…と思います。うかつに急いで外に出すとちょっと“純度”が下がっちゃう気がする。大事に育てて、「我ながらマニアックすぎるかもしれない…」みたいな形で維持できるといいと思います。

ちなみにこの後も(今ざっと見てきましたが)、革